

一般国道158号（大野市上半原地係）の斜面崩壊に関する
第2回対策検討会 結果概要

- 1 日 時 令和7年7月29日（火） 13:30～15:10
- 2 場 所 県庁9階 902会議室
- 3 出席者 <委員>
 - 荒井 克彦 （福井大学 名誉教授）
 - 桑原 正明 （国土技術政策総合研究所 道路構造物
研究部道路基盤研究室 室長）
 - 伊藤 征毅 （国土交通省 近畿地方整備局福井河川国道事務所
副所長）
 - 三田村 佳紀（福井県 土木部 副部長）
 - 鳥山 公裕 （福井県 奥越土木事務所 所長）
- 4 議 題
 - ・ 仮設道路（う回路）について
 - ・ 地質調査結果について
 - ・ 復旧工法について
 - ・ 応急工事（応急的な措置）について
 - ・ モニタリングの管理基準値について
 - ・ 今後のスケジュールについて
- 5 結果概要
 - ・ 地質調査結果より、すべり面の位置（図1）について妥当であると確認。
 - ・ 第1回検討会で説明された斜面崩壊の発生メカニズムについて、地質調査結果と合致していることが確認された。
 - ・ 斜面崩壊の本復旧については、比較案より「排土およびのり面对策（アンカー工）」にて現道を復旧する案（図2）が妥当とされた。これにより、今後、詳細な検討を進めていく。
 - ・ 安全性の向上や今後の大規模崩壊を防ぐための応急的な措置（写真1）を県が本検討会で提案し妥当とされた。今後、施工条件などを確認しながら、無人化施工導入について、国の貸与も含めて検討を行うこととなった。
 - ・ モニタリングの管理基準値について、「現地作業中止の管理基準」は、妥当である。
 - ・ 今後、必要に応じて検討の場を設けることで了承を得た。
- 6 その他
今後、災害復旧事業として施行していくために、国土交通省と協議を進めていく。

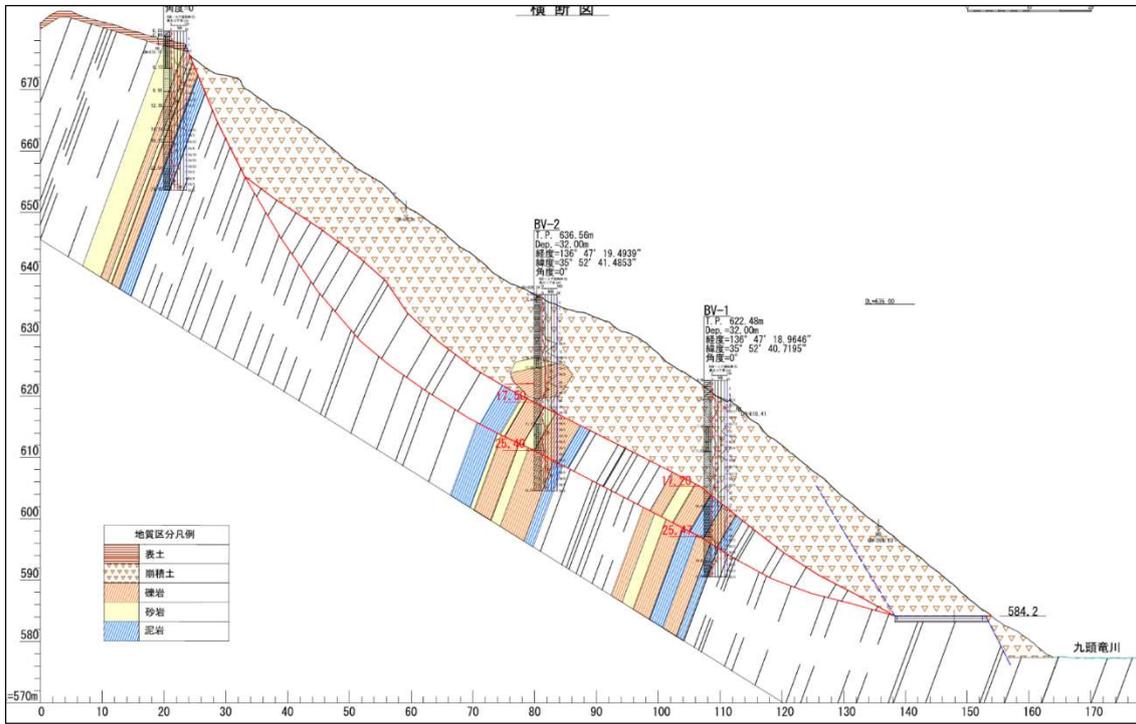


図1. すべり面の位置

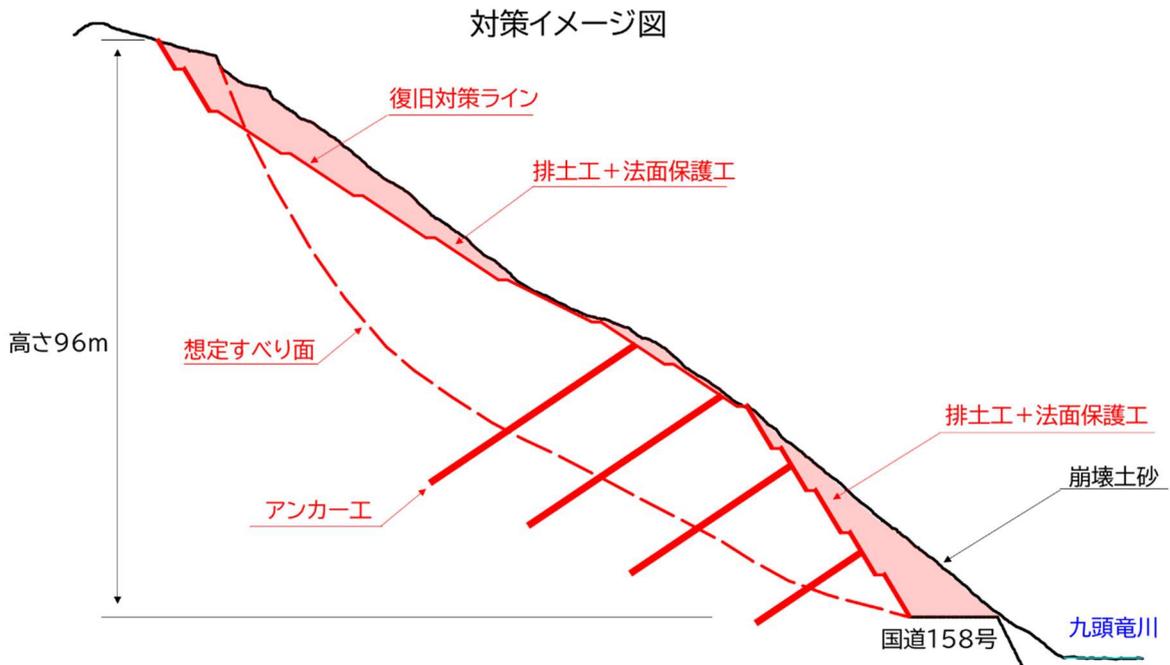


図2. 排土およびのり面対策（アンカー工）にて現道を復旧



写真 1. 応急的な措置（排土工）



写真 2. 第 2 回対策検討会 開催状況